

今日からはじめる！ 口腔乾燥症の臨床

この主訴にこのアプローチ

安細敏弘・柿木保明／編

●高齢社会を迎え、口腔乾燥症や舌痛症、味覚障害の患者さんは増える一方です。しかし、臨床の現場では、これらの疾患や症状に対する診断や治療法は十分に確立しておらず、患者さんが「口が乾く」「舌がピリピリする」などと訴えても、特別な所見がみられないために「気のせい」と判断されて、患者さんが途方に暮れるケースも多くみられています。

●本書では、口腔乾燥症と唾液分泌量低下は同義ではないという立場のもと、唾液分泌量、粘膜保湿度、舌・顔面周囲の運動機能、生活習慣・食習慣などを含めて包括的に診断・治療することを基本としています。そして、日常臨床で患者さんが多く訴える症状を中心に、いろいろな患者さんのライフステージに応じた臨床対応ができるよう構成しました。

●これから口腔乾燥症の臨床をはじめようとする医師・歯科医師、またそうした患者さんに接する機会が多い歯科衛生士、看護師、言語聴覚士の方々に理解しやすいよう解説した、日常臨床に密接したガイドブックです。今日からはじめる口腔乾燥症の臨床にお役立てください。

CONTENTS

第1章 口腔乾燥症の患者を診る

口腔乾燥症とは
唾液の重要性

第2章 口腔乾燥症の検査と診断

問診のとり方とポイント
検査・診断の実際と検査値の見方

第3章 口腔乾燥症の治療

治療のストラテジー
原因療法
対症療法

第4章 舌痛症と味覚障害の診断と治療

舌痛症の診断と治療
味覚障害の診断と治療

第5章 頻度の高い主訴と臨床での実際

口の中全体が乾く
口が乾く、ネバネバした感じがする
唾液が出すぎる
舌が痛い
味がわかりにくい
味がわかりにくい、上あごに辛い感じがある
飲み込みにくい
口の中がネバネバして話にくい
口臭が気になる
シェーグレン症候群の症例
自己免疫疾患・合併症の症例
放射線療法の既往がある症例
重症心身障害児の症例
要介護高齢者の症例
病診連携による対応例
地域歯科診療所での取り組み例

第6章 口腔乾燥症の予防

一般高齢者および特定高齢者における予防
要介護者・障害者における予防

第7章 口腔乾燥症Q&A

口腔機能低下に伴う

口の乾き・舌痛・味覚障害など 日常臨床で多い症状に対応するための ガイドブック！

B5判／208頁

2色刷

定価5,250円

(本体5,000円+税5%)

ISBN978-4-263-44273-9

医歯薬出版株式会社